

## 題 R.O.V.（自航式水中カメラ）の開発協力

当試験場では、定置網や海底等の状況を確認するため、R.O.V.を保有使用しております。

(<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p948954.html>)

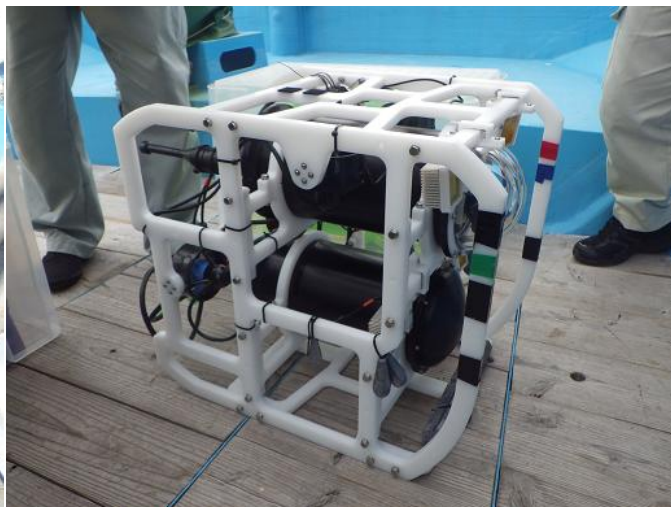
今、R.O.V.は、技術の進歩により、機動性や、潜行深度、カメラの解像度等の性能が年々上昇すると共に、部品の汎用化や、IT等の発達により、製造コストが下がって安価になっております。R.O.V.が安価で高性能になれば、導入する水産関係者等が増え、使用される頻度も増加し、定置網の急潮等の被害防止にも役立つと考えられます。

そこで、当試験場では、民間企業と協力して、高性能で製造コストの低いR.O.V.を開発することになりました。

現在開発中のR.O.V.は、従来のR.O.V.と同じくらいの大きさですが、開発中（右写真）のR.O.V.の方が、重量が断然軽いです。



当試験場のR.O.V.



開発中のR.O.V.

撮影画像も、現行のR.O.V.より、映像の画質を遥かに上回ります。



※開発中の R. O. V. の詳しい映像は、こちら <https://youtu.be/Z96xyo8c7pw> からご覧になれます。

最大潜行深度も、300m以上となっており、現行の R. O. V（200m程度）と比べても、性能差は歴然としております。

開発中の R. O. V. は、他にも優位性がありますが、ひとまずはこの辺にしておきます。

当試験場の R. O. V. は、導入から10年を経過しており、開発中の R. O. V. と比べると、10年という年月を強く感じます。

その当試験場の R. O. V. は、現在、10年経過に伴う老朽化による細かな故障等を直すため、オーバーホール中です。

戻ってきたら、県の水産業のため、我々と一緒に再び頑張ってもらいたいと思います。